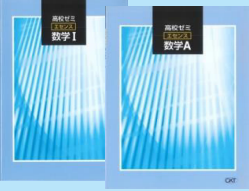

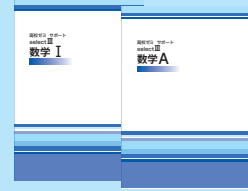
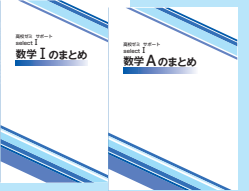
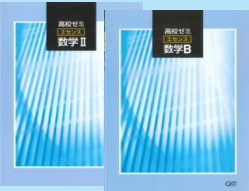
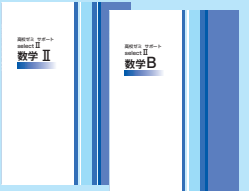

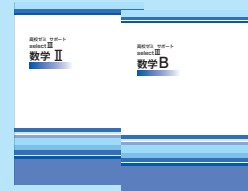

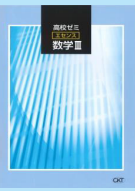





進学指導型モデル学習プラン

数学 理系

モデルケース:安定した基礎学力をもとに演習中心の学習を進めより高い志望校を目指す生徒

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高1	 エッセンス数学Ⅰ・数学A			 高ゼミサポート selectⅡ 数学Ⅰ・数学A					 高ゼミサポート selectⅢ 数学Ⅰ・数学A		 高ゼミサポート selectⅠ 数学Ⅰのまとめ・数学Aのまとめ	
ワンポイントアドバイス	<p>高1は、「公式を確実に覚えること」「可能な限り数多くの基本問題をこなすこと」を徹底します。「高校ゼミ エッセンス数学Ⅰ・数学A」を軸に進めていき、「高校ゼミサポート selectⅡ 数学Ⅰ・数学A」「高校ゼミサポート selectⅢ 数学Ⅰ・数学A」「高校ゼミサポート selectⅠ 数学Ⅰのまとめ・数学Aのまとめ」で問題演習量を増やします。分からなかった問題は、そのつど「高校ゼミ エッセンス数学Ⅰ・数学A」に戻って、「学習の要点」「例題」を確認した上で基本問題を解き直し、一つ一つ確実に弱点を潰していきます。1冊のテキストを最低2回は反復します。1回目間違えた問題に印を付けておけば、2回目以降は間違えた問題を中心に短時間で終わることが出来ます。</p>											
高2	 エッセンス数学Ⅱ・数学B			 高ゼミサポート selectⅡ 数学Ⅱ・数学B			 プラクティス 数学Ⅰ・A		 高ゼミサポート selectⅢ 数学Ⅱ・数学B		 高ゼミサポート selectⅠ 数学Ⅱ・Bのまとめ	
ワンポイントアドバイス	<p>高2は、「高校ゼミ エッセンス数学Ⅱ・数学B」を進めながら、並行して「高校ゼミサポート selectⅡ 数学Ⅱ・数学B」「高校ゼミ プラクティス数学Ⅰ・A」「高校ゼミサポート selectⅢ 数学Ⅱ・数学B」を用いて演習量を増やし、入試に向けて実践的な力を身に付けます。3月には、「高校ゼミサポート selectⅠ 数学Ⅱ・Bのまとめ」を使って、今までの総復習と、高3に向けての先取り学習を行います。様々な切り口の問題を数多く解いていくうちに、「この問題にはこの解法を使えばよい」というパターンを自然に身に付けることができます。自学自習が進める場合は、解説をしっかりと読んで、どのような過程を経てこの解答に至ったのかを、納得のいくまで理解することが重要です。自分なりに考えた過程をノートに書いた上で解説を読む習慣を付けることで、より学習効果が高まります。</p>											
高3	 エッセンス数学Ⅲ			 高ゼミサポート selectⅡ 数学総合			 プラクティス 数学Ⅱ・B			 高ゼミサポート selectⅢ 数学総合		
ワンポイントアドバイス	<p>高3は、「高校ゼミ エッセンス数学Ⅲ」を進めながら、「高校ゼミサポート selectⅡ 数学総合」で実践的な力を養います。9月以降は、志望校の過去問を解きながら、同時に「高校ゼミ プラクティス数学Ⅱ・B」を用いて演習量を増やします。問題を見ただけで、考えなくても自然に手が動くくらいになるまで問題量をこなしましょう。総仕上げの「高校ゼミサポート selectⅢ 数学総合」は、余裕を持って10月頃から始めても構いません。その分、12～1月を過去問演習に充てるできるようになります。解きっぱなしにならないよう、同じテキストを2回は反復しましょう。目安としては、通年テキスト→3～4カ月、講習・単発テキスト→1～2カ月で終わらせていく、速習型のプランです。</p>											